

初期臨床研修プログラム： 地域医療

コースの位置づけ：必修科として、1ヶ月、選択科として 1ヶ月から3ヶ月

【プログラムの目的と特徴】

上越総合病院理念のもとに、医療・保健・福祉が一体となった地域包括サービスの研修経験を通じて、患者・家族のニーズを生活者の側面からも理解し、地域で生活する人たちの健康管理者としての医師の役割を経験させる。

- 1) 医師会・へき地診療所・小規模病院との協力下に、かかりつけ医としてプライマリ・ケアの役割を果たし、当院など二次医療機関とのスムーズな病診連携を行っている地域医療機関での研修を行う。
- 2) 保健所の医師の役割を経験し、結核・SARS・HIV その他の感染症の予防対策、地域および施設での予防接種・患者管理・審査会などの活動、難病・精神障害・未熟児・障害者（児）に対する保健・福祉活動、医療・環境・食品等の監視業務や立ち入り検査等を理解させる。
- 3) 老健施設と協力体制にあるより小規模の病院での研修から高齢者医療を包括的に学ぶ体制ができており、在宅介護支援センターを通じて在宅介護を指導し、併せて訪問診療により在宅医療も学ぶことができる。
- 4) 健康診断、糖尿病教室、産業医活動、住民健診や職場健診など各種検診を経験し、予防医療を疾患と関連付けて学ぶことができる。

I 一般目標(GIO : General Instructional Objective)

医療の全体構造におけるプライマリ・ケアや地域医療の位置づけと機能を理解し、将来の実践ないし連携に役立てるために、診療所や地域病院を受診する患者が抱える問題が急性期病院とは異なることを認識し、診療所における患者へのアプローチを身に付け、地域医療に果たす保健所の役割を理解する。

II 行動目標(SBOs : Specific Behavioral Objectives)

- 1) 心理社会的な背景（生活の様子、家族との関係、ストレス因子の存在など）を含めて、適切な病歴が聴取できる。
- 2) 必要な身体診察が正確にできる。
- 3) 生活者である患者に目を向けて的確な問題リストを作成できる。
- 4) 患者とその家族の要望や意向をくみ取ることができる。
- 5) 健康維持に必要な患者教育（食生活、運動、喫煙防止または禁煙指導）が行える。
- 6) 患者に対して思いやりをもって接し、共感を示すことができる。
- 7) 周囲のスタッフと良好なコミュニケーションがとれている。
- 8) 公衆衛生機関としての保健所の機能をその中で医師の役割を述べることができる。
- 9) 診療情報提供や介護保険のための主治医意見書の作成を補助できる。
- 10) 地域の特性が、患者の罹患する疾患、受療行動、診療経過などにどのように影響するかを述べることができる。
- 11) 患者の問題解決に必要な医療・福祉資源を挙げ、各機関に相談・協力ができる。
- 12) 医療・保健・福祉・介護の法則・制度を理解し、医師として適切に行動できる。
- 13) 結核・SARS・HIV その他の感染症の予防対策を理解し、地域および施設での対策（予防接種・患者管理・審査会）などに参加する。
- 14) かかりつけ医の役割を述べることができる。

Ⅲ 学習方略(LS : Learning Strategy)

研修先

- 1) 新潟県立松代病院
- 2) 新潟県立柿崎病院
- 3) 厚生連けいなん総合病院

病棟研修：指導医の担当する患者を中心に入院受持ち患者の診療・治療などを観察し、その適正判断・修正を行う。原則として病棟回診を指導医・上級医と共に毎日行う。

外来研修：指導医・上級医の支援を受けて、共に診療にあたる。内視鏡検査等の手技を経験する。

訪問診療：診療所の指導医の訪問診療に同行し、在宅医療を学ぶ。

- 4) 上越保健所

Ⅳ 学習評価(Ev :Evaluation)

知識：レポート、EPOC 対応

技能：診察、技術等に関して観察記録を行い、研修医にフィードバックを与える。

態度：観察記録評価

補足：